

【2025年6月 第6回 対面&オンライン講演会】

●2025年6月5日(木) 14:00～15:30

講師:濱田 嘉一 氏

(東京大空襲を忘れない実行委員会代表)

演題:「東京大空襲と私の体験～東京大空襲を語り継ぐ」

【概要】

【講師略歴】

<参加希望の方へ>

ZOOM を使ったのオンライン参加となります。

下記の URL をクリックするか、ミーティング ID とパスコードを入力してご参加ください。

(講演開始1時間前から公開します)

視聴時はご本名がわかるようにし、ミュートにしてください。

匿名でのご参加はご遠慮いただいています。

なお、ホストの方で記録のため録画いたします。

【2025年6月 第7回 対面 & オンライン講演会】

●2025年6月12日(木) 14:00~15:30

講師: 渋谷 彰 氏

(筑波大学医学医療系・教授、革新的創薬開発研究センター・センター長/TNAX Biopharma株式会社CSO)

演題: 「人生100年時代における医療ニーズとシーズ
ーベンチからベッドサイドへの橋渡し研究ー」

【概要】

【講師略歴】

<参加希望の方へ>

ZOOM を使ってのオンライン参加となります。

下記の URL をクリックするか、ミーティング ID とパスコードを入力してご参加ください。

(講演開始1時間前から公開します)

視聴時にご本名がわかるようにし、ミュートにしてください。

匿名でのご参加はご遠慮いただいています。

なお、ホストの方で記録のため録画いたします。

2025年6月 第2回 21世紀アジア塾講演会

(講演委員会と共催)※対面のみ

●2025年6月19日(木) 14:00～15:30

講師:温 秋穎 氏 (京都大学人文科学研究所特任助教)

演題:「ことばと社会の歴史をいかに記述するか
—近現代日本の中国語受容を例として」

【概要】

【講師略歴】

1995年中国青島生まれ、京都大学大学院教育学研究科博士後期課程修了、博士(教育学)。日本学術振興会特別研究員DC1、大谷大学助教を経て、現在、京都大学人文科学研究所特任助教。専門はメディア史・メディア論。

【主な著作】

- NHK「支那語講座」のメディア史(1931—1941)—他者の言語はいかに想像されたか (『メディア研究』第101号, 2022年, 京都大学教育学部同窓会京友会国際賞, 日本メディア学会第11回優秀論文賞受賞),
- 戦前日本の中国語学習誌の資料的復元—語学教育と中国研究の関係の史的再考のために (石川禎浩編『20世紀中国史の資料的復元』京都大学人文科学研究所, 2024年)など。
- 『近現代日本における中国語受容史』(岩波書店、2025年3月)は、ラジオや講師の〈声〉から発せられる生きた中国語はどう受容されてきたのかを研究し、第23回アジア太平洋研究賞を受賞。

<参加ご希望の方へ>

対面のみ参加となります。国際善隣会館5階の会議室へどうぞ。
Zoomでの配信はいたしませんので、ご了承ください。

【2025年6月 第8回 対面&オンライン講演会】

●2025年6月26日(木) 14:00～15:30

講師：川上 泰徳 氏(中東ジャーナリスト、元朝日新聞記者)

演題：「パレスチナ問題と中東危機」(仮)

【概要】

【講師略歴】

<参加ご希望の方へ>

ZOOM を使ったのオンライン参加となります。

下記の URL をクリックするか、ミーティング ID とパスコードを入力してご参加ください。

(講演開始1時間前から公開します)

視聴時にご本名がわかるようにし、ミュートにしてください。

匿名での参加はご遠慮いただいています。

なお、ホストの方で記録のため録画いたします。